

	<b>東風</b>	糸島市立東風小学校学校通信 191号 (令和4年度第15号) 令和4年11月18日 文責 校長 重富 泰敏
---	-----------	---

### 体育参観感想文①1年生・2年生

子どもたちの「やる気・仲間（協力）・あきらめない」の姿がたくさん見られた体育参観でした。保護者の皆様のおかげで応援や拍手に感謝します。また、区長会の皆様、学校運営協議会の皆様を御来賓として、招待させていただきました。応援団や委員会活動の活躍もあり、昨年度よりもさらに進んで一体感のある体育参観を実施することができました。

<p>「かけっこ がんばった」1年 さいごまでいっしょうけんめいうでをふってがんばりました。じぶんのじゅんばんがくるまでドキドキしました。つぎは、もっとはやくはしれるようになります。</p>
<p>「かけっこで がんばった」1年 わたしは、かけっこをがんばりました。かけっこで2いをとれてうれしいです。</p>
<p>「ツバメのダンス」1年 ツバメのダンスでがんばったことは、ジャンプをすること、はねをひらひらさせることです。かけっこで1ばんになりたかったけど、2ばんでした。でも、かぞくみんながほめてくれてうれしかったです。</p>
<p>「かけっこ」1年 かけっこで、ほんきをだして、はをくいしばってはりました。1ばんでした。うれしかったです。</p>
<p>「さいごまでがんばった体いくさんかん」2年 わたしは、体いくさんかんで、ダンスとかけっこをしました。とくに、じゅんぴ体そうのダンスが楽しかったです。え顔で手を大きくふることができました。「できっこないをやらなくちゃ」のダンスでは、シャッターチャンスでポーズをきめるところががんばりました。</p>
<p>「体いくさんかん日」2年 はじめ、わたしは、きんちょうしました。でもお家の人が見に来てくれたので、すごうれしかったです。とくに、ダンスの時は、うでをのばして大きくひょうげんしました。おうえんしてくれて、わたしは、うれしくて、ちょっとなみだがでました。わたしのいい思い出になりました。</p>
<p>「かけっこ1い」2年 わたしはたいいくさんかんで、かけっこをしました。かけっこは、すごくふあんになったけれど、がんばって1いになれました。</p>
<p>「かけっこ」2年 かけっこをしているときに、きんちょうしてちょっとだけ「にやっ。」とわらってしまいました。らい年は、わらわないようにがんばります。</p>
<p>【保護者からいただいた感想】 かけっこやダンスに参加できて、私も家族も子どもの成長に心動かされました。見学でもいいと思っていましたので、まさか子どもがかけっこで走れるとは驚きました。クラスのお友だちも我が子を気遣ってくれている様子でありがたいです。いつもありがとうございます。</p>

【校長より】…子どもたちが楽しくがんばっている姿がとてすばらしかったです。次回3・4年生です。

### 学校におけるいじめ防止・トラブル・けが等への対応について

東風小では、いじめ防止基本指針を策定し、いじめに対する基本的な考え方を共通確認しながら、いじめ防止に向けて具体的な取組を推進しています。また、子どもたちのケガやトラブルへの対応について、学校全体で確認し、対応と指導について、統一認識を進めています。子どもたちの人間関係のトラブルや暴力の際、大切にしていることは以下のポイントです。

- ①**事実の確認1**…何がいったのか？何を言ったのか？どういう順序だったのか？  
必要に応じて、周りの見ていた子や関わった子の証言も取りながら個別に確認します。
- ②**事実の確認2**…事実を合わせながら、起こったことを整理し、関係者全員で間違いはないかどうかの確認をします。  
**※事実の流れをしっかりと全員で（お互いに）確認した上で指導に入ります。※**
- ③**理由を聞き原因をさぐる**  
…どうしてそうしたのか？どうして言ったのか？  
…イヤだったこと、辛かったことを表現させ伝えさせます。※無理させないよう配慮しています。
- ④**自分やお互いの反省点を考える→納得する**  
…相手にしたこと言ったことで自分がいけなかったと振り返ったのはどこか？  
…相手が一番イヤだったことに対してどう思うかをお互いに振り返らせます。  
…振り返ることができた部分はどこがいけなかったのかを考えさせ、自分から謝ることができるように指導します。
- ⑤**この次に生かす**  
…この次、同じようなことがあったら、どう考えどう行動するかを確認します。  
※保護者の方々とも情報や内容を共有し、今後の指導に生かしていきます。

場所や時間、状況によっては、担任がその場にいない場合も考えられるため、双方や関係者の意見が食い違う場合も考えられます。学校としては、(学校内外に関わらず)事実の確認を大切にすることや、わかり得た内容から指導につなげていくこと、保護者への説明を行い、今後の方向性について共有することを大切にしていきます。

子どもにとっては、出来事や様子について、先生や友だちとの会話や指導の中で、状況や様子を正しく説明できる力や、自分の中の不安や苦しき等、ネガティブな(マイナスの)感情を身近な人に伝える(相談する)力が必要です。

御家庭でも、会話を通してお子様の「ことば」や「きもち」を引き出していただきたいと思います。心配なことやお気づきの点等ありましたら、学校まで相談・報告いただきますよう、よろしくお願いいたします。



- 【学校と家庭との連携のポイント】**
- ①「起きたこと(事実)を説明する力」・「イヤだったことを報告・相談する力」・「自分の気持ちや考え、願いを伝える力」について、学校・家庭で協働して一緒に育んでいきましょう。  
※時間をかけて、丁寧に向き合っていくことが大切だと考えます。
  - ②学校で、いやなことをされて解決してないことや先生が知らないかもしれないことは、すぐに担任の先生に相談するよう、家庭での対応と声かけをお願いします。
  - ③御家庭で、お子様の「イヤだったこと・苦しかったこと」をキャッチされたときは、すぐに学校まで御連絡いただきますようお願いいたします。(※すぐに対応・指導・連携していきます。)